

ASSETS2022年の1回目です。コロナ禍で世界中が混乱しています。コロナの問題だけではなく、世界中に大きな問題が山積しています。志成館の「ASSETS」では、あなた達の未来を守るために、1回目はプラスチックごみから始めます。そして食品問題そして世界平和の問題へと続けます。現在中学3年生が受験期なので多忙で、少し間が空くでしょうがご理解ください。

現在のあなた達は、毎週「キャッシュカード1枚分のプラスチック」を体の中に取り込んでいるといわれています。①プラスチックの容器での飲食、②プラスチックでカバーしてレンジで加熱しての飲食、③いろいろな化学繊維の服を着ているためにその粉塵を酸素と一緒に肺から吸収している、④海に溶けているプラスチックを食べた魚を食べている事⑤そもそも飲料水や食品そのものに恐るべき量のプラスチックが溶けている事など、体にプラスチックが取り込まれる例は枚挙にいとまがありません。その結果として、現代人は、「現代特有のいろいろな病気」にかかっています。以下は2022年の1月にNHK-B Sで放送された「デンマークで作成されたプラスチックの人体に与える影響」の番組を森がノートしたものです。プラスチックの何が悪いのか、どんな病気が、いつから発生していたかを理解してください。デンマークの放送内容をできるだけ忠実に再現しています。<志成館にはNHK-B Sの録画があります>

大半のプラスチック製品は、原油（石油）に色々な化学物質を加えて、柔らかいビニールにしたり、硬い容器やいすやおもちゃなどにしたり、化学繊維として下着や洋服に加工しています。石炭や原油などの化石燃料は、それが元々は生物であったのでそれ自体に問題があるとは考えられません。（それを燃やすことで地球温暖化という大問題を起していることは今日ここでは除外します。）問題なのは、製品をつくる過程で加えられる多種多様な化学物質なのです。この無数の化学物質は、体の中に入ると、もともと体の中にある人体をかたちづくり、そして人体を守る「ホルモン」と同じように作用する、「環境ホルモン」という危険な物質として作用をし、人体に多大な悪影響を与えるのです。具体的な例としては次のようなものです。

- (1) 子供たちの頭脳に悪影響を与え、現代人に多い「何事にもやる気を見せない無気力な人間」や逆に「過剰にいらいらしがちな落ち着きのない人間」をつくること
- (2) 女性の乳がんが3倍になっている事や生理の年齢が低下している事
- (3) 精子や卵子への攻撃がひどく、子供を産めない人たちの数が世界中で増加している事
- (4) 男の子が高校生になって男らしくなるころに、ちっとも男らしくならない事

・・・このことは、オタマジャクシに環境ホルモンを与えると、オタマジャクシのまま大きくなって、カエルになって飛び跳ねる事ができなくなることで証明されている事  
 実はこれらのことは、1980年代後半に科学者が警告を発していたのですが、しかし「石油化学工業」という、現代社会では欠くことができない産業に関する「知ってほしくない真実=不都合な真実」になりますので、石油化学工業が一体となって、その情報を隠蔽（いんぺい=隠すこと）しました。同じころ「地球温暖化の危険性という不都合な真実」についても科学者が警告したのに、産業界が耳を貸さなかったのと同じことです。人類が破滅するのに、産業を守ろうとする愚かさは、下のNEWSWEEKの挿絵（さしえ）にありますので見てください。

【下】今の世界の多くの企業や政治の指導者たちがしていることは、下の挿絵そのものなのです！！  
 「人や国は減んでも産業は守る」 そうなのです。



未熟でコストのかかる技術は、化石燃料の採掘につながることを理解する必要がある。環境NGOの「CAN」は日本の産業界がアンモニアや水素を利用した発電に取り組みアジア諸国への支援を表明したことを批判して、昨年12月に「化石燃料」を授与した。

©2021 CHAPPATTE- DER SPIEGEL

- とりあえずあなた達にできることは
- ①カップラーメンは、「陶器」のどんぶりに移して、熱湯をかけて食べる事  
 : カップの内側のプラスチックが溶けて体に入ります
  - ②日ごろの飲食を「ガラスや陶器の食器」を使用すること  
 : 飲み物をプラスチック容器で飲むときにも体に入りますペットボトルより「瓶」に入ったものを
  - ③プラスチックやビニールで包まれている食品を、レンジで加熱して食べない
  - ④服は「綿」や「ウール」素材にしませんか？  
 ・・・・そんなことを言ったらできるはずはないよね だから出来るだけでいいです

## プラスチックに囲まれたカラフルで素敵な生活

**ポリプロピレン(PP)**  
 つやがあり、燃えにくい  
 食品容器、食品包装フィルム、風呂用具、ペットボトルのキャップ、ボトル容器

**ポリスチレン(PS)**  
 衛生的で水に強い  
 発泡トレイ、テレビやパソコンの外側、家の窓の断熱材

**ポリエチレンテレフタレート(PET)**  
 透明で丈夫  
 ペットボトル、卵用パック、毛布、フリースのジャケット、手袋



**代表的な汎用プラスチック**

**ポリ塩化ビニル(PVC)**  
 燃えにくく丈夫  
 消しゴム、おもちゃ、レコード、水道管、サッシ

**高密度ポリエチレン(HDPE)**  
 衝撃や薬品に強い  
 ボトル容器、ポリバケツ、レジン袋、灯油タンク

**低密度ポリエチレン(LDPE)**  
 水より軽く、やわらかい  
 ジッパー袋、マヨネーズ容器、紙パックもプラだった！、食品容器主にフタに使用、透明ポリ袋、紙、ポリエチレン

原料名が書かれているはずですが、名前の頭に「ポリ」とつくのは、たいていプラスチックの仲間。飲料の容器として使われるペットボトルの「PET」も、ポリエチレンテレフタレートの略称です。冷蔵庫、掃除機、洗濯機、テレビなど、家電製品もプラスチック製。家具もまた例外ではありません。プラスチックだけでできている衣ケースもあれば、テーブルの天板のように、一部にプラスチックが使われているものもあります。それどころか私たちが暮らす住宅も、プラスチック尽くし。浴槽や洗面台から壁天井、床、水道管に至るまで、様々な種類のプラスチックが使われているのです。買い物に出かければ、プラスチックのパッケージに入っていない商品を探すのは至難の業。何かを買うたびに、プラスチックごみが増えていくのが現実です。これほどまでにプラスチックが利用されているのは、軽くて丈夫で加工しやすく、値段も安い、といった利点があるからです。使うと便利でも、捨てるのが厄介者になることを批判して、昨年12月に「化石燃料」を授与した。世界中で真剣な議論が始まっています。

家の中にはプラスチック尽くし  
 ここまで見てきたように、プラスチックは世界中で様々な問題を引き起こしています。そのため近年、プラスチックを使わない生活に関心を寄せる人が増えています。しかし、プラスチックをまったく使わずに、たった一日でも過ごすことができません。例えば、私たちが着ている服には様々な合成繊維が使われていますが、これもプラスチックの一種です。机の上にあるボールペンや消しゴム、定規など、文具の多くはプラスチック製。パソコン、携帯電話、CD、DVDもプラスチック製です。台所には、もっと多くのプラスチック製品が溢れています。食品を入れる容器の裏やラップフィルムをのぞいてみれば、プラスチックの箱をよく見てみましよう。ポリエチレン、ポリプロピレンなど

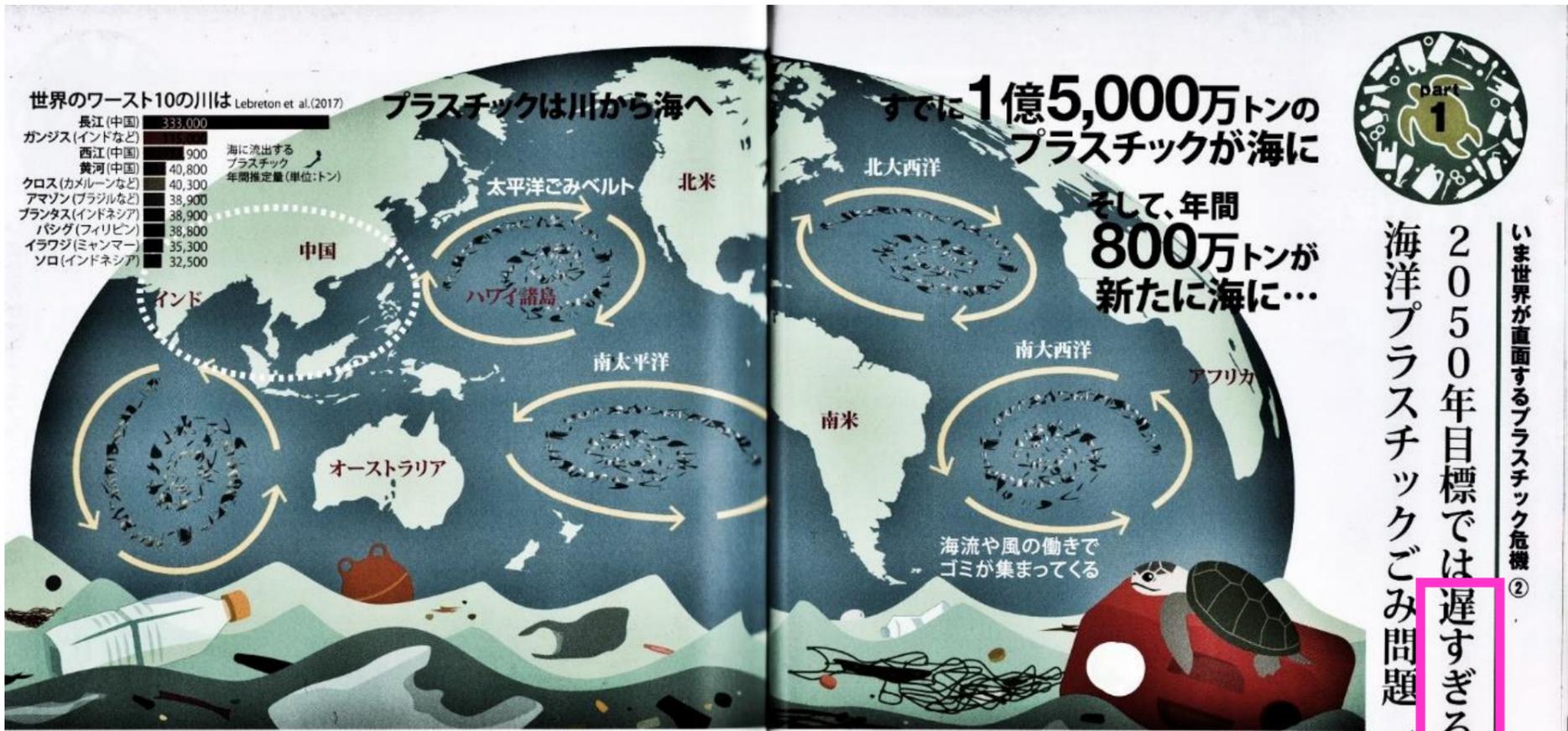


いま世界が直面するプラスチック危機⑥  
 もうノープラ生活には戻れない!?  
 私たちの暮らしの現実

図解でわかる  
**14歳からのプラスチックと環境問題**  
 インフォビジュアル研究所・著

国連の「SDGs」って何？  
 2030年までにプラスチックをどうすればいいの？  
 14歳からわかる！カラー図解満載!!

使い捨て生活は、もうしたくない。  
 その解決策の最前線。96Pで学ぶ「未来への新常識」。  
 インフォビジュアル研究所・著



世界のワースト10の川は Lebreton et al.(2017)

長江(中国)	333,000
ガンジス(インドなど)	900
西江(中国)	40,800
黄河(中国)	40,300
クロス(カメルーンなど)	38,900
アマゾン(ブラジルなど)	38,900
プランタス(インドネシア)	38,800
パシグ(フィリピン)	35,300
イラワジ(ミャンマー)	32,500
ソロ(インドネシア)	32,500

海に流出するプラスチック年間推定量(単位:トン)

プラスチックは川から海へ... 太平洋ごみベルト... 北大西洋... 南大西洋... アフリカ... 南米... オーストラリア... 海流や風の働きでゴミが集まってくる

いま世界が直面するプラスチック危機②  
2050年目標では遅すぎる！  
海洋プラスチックごみ問題

すでに1億5,000万トンのプラスチックが海に  
そして、年間800万トンが新たに海に...

近い将来プラスチックが魚の量を上回る!?  
2019年6月、日本で開催された主要20カ国・地域首脳会議(G20大阪サミット)にて、海洋プラスチックごみ問題が討議され、2050年までに新たなプラスチックごみ流出ゼロを目指すことが表明されました。

シロリガの仲間... 深海もPCB汚染... 関東沖二枚貝から検出... シロリガの仲間... 深海もPCB汚染... 関東沖二枚貝から検出... シロリガの仲間... 深海もPCB汚染... 関東沖二枚貝から検出...

【下】ハワイ州やカリフォルニア州のような、日本の反対側の太平洋のプラスチックごみの汚染はひどいものなのですが、日本近海の高底も最悪という最近の西日本新聞からの記事です。

J A (=広く農民を守る組織)が、40年以上も前から、田んぼの肥料に、プラスチック加工の肥料を使っていたことを、ようやく公表したという記事です。安全なはずの日本の農業が、これまで、恐るべき量のプラスチックごみを、海洋に投棄していたということです。

→Q: いったい誰がこの責任をとるのでしょうか?  
→A: 答えは「あなた達」です。あなた達がこれから「医療公害」「粉塵公害」「食品公害」の被害を受け続けるのです。

Special Report

LAST CHANCE FOR THE WORLD

生き残りを懸けSDGsを追う 欧州の本気を見よ

SDGs

環境 気候変動や人権重視の流れの源流であるヨーロッパ。その企業や大学、自治体がサステナビリティを高めるのはそれが生存への唯一の道だと歴史から学んでいるから

今

【上】【左】  
もう時間がないのです！！  
SDGsでは不十分です  
遅すぎるのです！！

プラスチック肥料ゼロへ

J A全農、全国複合肥料工業会、日本肥料アンモニア協会... 肥料は作物が必要とする時期に成分が徐々に溶け出す仕組み。プラスチックで覆っていない肥料の場合、収穫までに...

J A全農など、30年に目標

最低2回は追肥が必要... 3団体は21日の発表で、3年にはプラスチックを使用... 被覆肥料に頼らな農業... 環境ベンチャー「ピリカ」(東京)が実施した調査に... 計は20年度時点で1.5トン... 被覆肥料由来の量が15%に... 人工芝(23・4%)に... いでも多かった。